

●メディア報道実績

ニッポン ONLINE

ニッポン 印刷版

行政・政策 大手行等 地銀・第二地銀 信金・信組等 証券・保険 ノンバンク・企業 働き方

紙面ビューアー デジタル 社説・コラム オピニオン 人事異動 話題のキーワード

東邦銀行、「相双新産業推進室」が始動 つなぐ力 で復興を加速

2024.06.04 19:10 新聞記事

掲載記事 フォローする 掲載記事 フォローする 記事検索 フォローする
お気に入り



キックオフミーティング冒頭であいさつする佐藤頭取（6月4日、東邦本店）

東邦銀行は、東日本大震災に伴う原発事故の影響で復興が遅れた福島県太平洋沿岸地域、相双地区の成長支援を加速する。

6月4日、本店で法人コンサルティング部内に設置した「相双新産業推進室」のキックオフミーティングを開催。佐藤総頭取ら幹部・行員のほか、自治体や福島国際研究教育機構（FIREI）や福島イノベーション・コースト構想推進機構の関係者が、研究開発を軸とする新たな産業創出を支え、交流人口の増加・定住促進に向けた方針について意見交換した。

同室は4月1日に設置。震災から13年が経過した相双地区で進められている国家事業「福島イノベーション・コースト構想」の進展や、発足から1年のFIREIの知名度向上、情報発信を専ら部署として支援していく。村上市広さ長以下6人参加の同室は今後、「つなぐ」「ひろげる」「育てる」をテーマに相双地区の企業や自治体の発展・成長に役立つマッチングや情報提供、多様な資金供給について検討していく。

佐藤頭取は、「震災から13年で復興・復興は進んできたが持続的な成長を考えなければならぬ。なんとしても新しい産業を育てることに取り組んでいきたい」と意気込みを述べた。

〇〇fX@〇〇

ふくしま経済

ECONOMY & BUSINESS



相双地方の産業創出を後押しするため、東邦銀行が新設した「相双新産業推進室」が本格始動した。4日、関係機関を交えた初会合を

東邦銀行「相双推進室」始動 新産業創出へ必要技術紹介

同行で開き、新しい産業を生み出すための取り組みについて意見を交わした。推進室や福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島国際研究教育機構（エフレイ）などから約40人が参加した。会合は冒頭を除いて非公開。佐藤総頭取が「相双を拠点としているが、県内や東北全体にも

波及していくことを目指す」とあいさつした。写真。推進室は、イノベ構想やエフレイの設立など相双地方の復興・再生に向けた動きが本格化する中、産業創出を支えて交流・定住人口の増加を促す。同行の豊富な企業ネットワークを生かし、産業創出に必要な技術に関係機関に紹介するマッチングなどを進めていく。法人コンサルティング部内に4月1日付で設置された。

新産業創出を模索 東邦銀行は4日、相双新産業推進室の初会合を開いた。佐藤総頭取らが福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島国際研究教育機構（FIREI、エフレイ）の担当者らと意見を交わし、東日本大震災の被災地での新産業創出に向けた取り組みを模索した。オンラインを含め約40人が出席。佐藤頭取が「産業・企業が生まれ、いい形で成



被災地での新産業創出に向けた取り組みなどを協議した会合。長じていけるよう取り組みたい」と述べ、県や東北地方全体に効果波及させる決意を示した。会合は冒頭を除き非公開で、東邦銀行によると、推進室の取り組み方針を示し、意見を交わした。推進室は今年度新設。「つなぐ」「ひろげる」「育てる」を3本柱に据えている。東邦銀行が持つ県内外約1万4千社の取引企業とのつながりを生かし、新たな連携構築を目指す。情報発信を通じてイノベ機構やエフレイなどの認知度向上に貢献。融資をはじめ多様な資金供給の在り方を提示する。

2024年6月5日福島民友

2024年6月5日福島民報

東邦銀行「相双新産業推進室」始動
相双地域を中心に活動する企業・団体・自治体等との連携・協働にかかる中核機能を同室が担い、地域とともに新たな産業創出や交流・定住人口の増加施策を進めることで、相双地域を起点とした福島・東北の創造的復興を目指します。

● 「相双新産業推進室」の役割

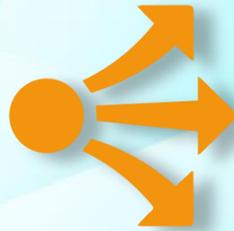


つなぐ。

対象エリアで活動する
多様なプレーヤー同士を
つなぎ合わせる
ハブになります

...

**マッチング事業
情報交換の機会創出**



ひろげる。

対象エリアの多様な活動の
情報発信をお手伝いし、
県内外の方の認知度向上
に努めます

...

**セミナー等開催協力
情報発信協力**



育てる。

対象エリアに芽生えた
新しいチャレンジの芽を
大きく育て
地域を元気にします

...

**資金融資
スタートアップ支援
ファンド**